

リペアエース（左官用）

断面修復用ポリマーセメントモルタル

リペアエース（左官用）とは

セメント、砂、ポリマー、有機繊維などを配合し、施工性、強度特性に優れた断面修復用ポリマーセメントモルタル（塗付け用）です。主に、コンクリート構造物の断面修復用としてリペアエースシリーズの左官用として開発した材料ですが、吹付け用と同様にシールドトンネルの中子型のセグメントの凹部に充填、不陸凹凸調整等の表面補修などいろいろな用途に使用することができます。

適合規格：NEXCO 左官工法による断面修復材の性能

特長

● 密実な充填

既設構造物の隅角部や鉄筋の背面、塗付け層の各層間に空隙を発生させることなくモルタルを密実に塗付けることができます。

● 優れた付着力

耐アルカリ性試験、温冷繰返し試験などの各種厳しい条件下でも高い付着力を有します。

● 収縮が小さく、優れたひび割れ抵抗性

長さ変化率（収縮）が 500μ 以下と非常に小さく、また、有機繊維を混入しているため、ひび割れ抵抗性に優れています。

● 良好な施工性

左官材ですが、良好なポンプ圧送性を有しており、通常の汎用ポンプを使用して50m程度圧送できます。（200V 3.7kw スクイーズポンプ ϕ 1.5 インチマテリアルホース使用）



側壁塗付け状況（1層目）



側壁塗付け状況（2層目）

施工要領

(1) 下地の清掃

- ① 下地は脆弱層、粉じん、汚れ等は十分除去してください。
- ② 鉄筋が露出している場合は、ワイヤブラシ等で錆を除去し、必要に応じて防錆剤を塗布してください。

(2) 水濡しまたは吸水調整材塗布

- ① 下地には水濡しまたは吸水調整材を塗布してください。
- ② 吸水調整材は、施工要領書に記載されている推奨材を使用してください。

(3) 材料の練練

- ① 材料の練混ぜは、施工要領書に記載されている推奨機材および練混ぜ方法を遵守してください。



下地の清掃状況

(4)塗付け(表面補修の場合)

- ①下地にしごき塗りを行った後、所定の厚さに塗付けてください。
- ②1回の塗厚は側壁で1cm程度、1層あたり2~3cm(2回塗り)を標準としてください。天井面は測壁の塗厚の半分とし、2層以上の塗重ねで所定厚さに仕上げる場合は、4時間程度(外気温20℃の場合)の間隔をおいてください。
- ③塗厚が側壁で5cm、天井面で2~3cmを超える場合は、2日以上に分けて塗重ねてください。
- ④塗重ねる場合は前層の表面を刷毛引き、目荒らし等を行い付着性の向上を図ってください。
- ⑤必要に応じて脱落防止のため、アンカーピンやワイヤーメッシュ(ステンレス)等を併用してください。

※上記補足事項および養生は施工要領書を遵守してください。



塗付け状況

標準仕様

1袋当りの標準配合		練上がり量	1m ³ 当りの標準使用量	
リペアエース	水		リペアエース	水
25 kg/袋	3.2~3.4 kg 標準水量 3.3 kg	13.5 ℓ/袋	75 袋/m ³	248 kg

各種特性

性能	試験項目	単位	基準性能	試験方法
力学特性	圧縮強度	N/mm ²	30.0 以上	JSCE-G 505
	曲げ強度	N/mm ²	5.0 以上	JIS R 5201
	コンクリートとの付着強度	N/mm ²	1.5 以上	JIS A 6909
	塗装塗膜との付着強度	N/mm ²	1.0 以上	JIS A 6909
フレッシュ性状	フロー	mm	155±20	JIS R 5201
	単位容積質量	kg/ℓ	2.05±0.06	JIS A 1171
	空気量	%	7.5±2.5	JIS A 1128
断面の修復に要する性能	長さ変化率	%	0.05 以下	JIS A 1129
	断面修復材の外観(塗装無し)	-	われ、はがれ、ふくれは認められないこと。	JIS A 6909
	熱膨張率	/℃	2.0×10 ⁻⁵ 以下	JIS K 6911

※試験基準に準拠して作製した供試体は、塗付けによるものです。

※基準性能値は、NEXCO の構造物施工管理要領「左官工法による断面修復材の性能照査項目」に関する性能評価等をもとにして性能を定めたものです。

販売元 **FATEC** 株式会社 ファテック

〒162-8557 東京都新宿区津久戸町 2-1

TEL : 03-3235-6269 FAX : 03-5261-9066